



『隠岐島の美しく壮大な歴史と自然が奏でる、
不器用な大人の女のメルヘン』

Introduction

一人の無名の女優が、隠岐島との出逢いをきっかけに映画を作ろうと思ひ立ちました。

私には、長年拭えないでいた苦悩がありました。

その苦悩とは、なぜ私は真実の愛に巡り逢えないのか？なぜ私を愛し包み込んでくれる男性が現れないのか？というものでした。数年前、新聞のコラムで記者の方が『たった1枚の投書を決して疎かにするな。その後ろには少なくとも600人の同じ想いを抱えた人たちがいるんだ、と先輩記者に言われた』と書かれていました。

その記事のことを思い出し、私はハッとしたのです。

『今、私がこのような想いを抱えているということは、少なくとも600人は私と同じような孤独を、今、経験しているんだ…』と。

それを想像した時、いてもたってもいられず、自分のエゴとは裏腹に映画制作を進めていく意志が生まれました。

とは言っても、映画制作のノウハウもない当初は途方にくれることばかりで何度も諦めようとしていました。

最初の7年間は、自分が書いた脚本を握り締めて、役者さんは自分が舞台出演して見つけ、スタッフは知り合いの伝を頼りに、と協力者を探し回る日々が続きました。

そして、やっと撮影期間2年を経て、多くの方のご協力と応援のおかげで、この『風待ちの島』は完成しました。

この映画は、どんな時も、どんな境遇にあるうとも諦めず、真実の愛を求め健気に生きている世界中のすべての(私も含めて)女性へ、私が贈る応援歌です。

どうぞ受け取って下さい。

そして、貴女が本当に求める幸せを見つけ、手にして下さい。

そんな願いを込めて創りました。

制作・脚本・監督
小山田モナ

Story

都会で散々傷ついてきた40代の亜希は、ある日夢に度々出てくる女について原因を追求するため、前世療法を受けにセラピストあすかの元へ訪れる。そこでも女は亜希に様々な映像を見せ、何かを訴えかけてきた。

あすかや、友人の幸恵の励ましもあり、亜希は改めて自分の人生を変える決心をし、夢に出てくる景色を辿り隠岐島へと旅立つ。そんな亜希を待っていたのは、すべてを包み込んでくれるかのような隠岐島の壮大で美しい自然と、島の温かい人情だった。

諦めることなく真実の愛を求め、不思議な導きの下、愛とは勇気を持って手にするものだという事に気づき、愛ある結婚を自ら掴みとるまでを描いた大人の女のラブストーリー。

『風待ちの島』公式ホームページ
<http://kazemachinoshima.info/>

